

現金用封筒10万部で和田勇PR

きのくに信金御坊営業部

1964年の東京オリ

ピック誘致に貢献した御坊市名誉市民第1号の和田勇顕彰会メンバーのきのくに信用金庫御坊営業部が、和田勇氏のイラストを印刷した現金用封筒を10万部つくり、28日に市役所でお披露目。イラストは一目で和田勇氏の功績が分かるように「日の丸」を持ち入場行進する日本選手団をバックに、和田勇氏の似顔絵を入れている。6月1日から市内や日高郡内の店頭やATMに置き、和田勇氏の顕彰、NHK大河ドラマ登場の気運盛り上げにひと役買

う。

お披露目には同営業部の平川和男部長と野口美晴さん、顕彰会の岡本恒男事務局長、市の大川泰輔総務部長が出席。平川部長は「地域貢献活動の一環で地元ゆかりの国際人である和田勇氏の功績をたたえ、地域金融機関としてお手伝い出来ることはないか」と、現金用封筒の作成を考案したことを説明。作成に当たっては「一目で和田勇氏の功績が分かるものにした」と、岡本事務局長に相談。

年の創立50周年記念事業で発行し、毎年、管内小中学生を対象に読書感想文を募集し、表彰している絵本「和田勇物語」のイラストを使うことを提案。絵本の中に描かれている和田勇氏のイラストと日本選手団の入場行進のイラストを組み合わせてアレンジした図柄に決

め、現金用封筒に「和田勇」 「東京にオリンピックを呼んだ男」ふる里ゆかりの国際人」の言葉とともに印刷した。平川部長は「立派なものが出来上がった。和田勇氏の功績を多くの人に知って

6月から使用「一目で功績連想」



現金用封筒をPRする平川部長、野口さん、岡本事務局長（左から）

いただき、NHK大河ドラマに登場してもらえよう応援したい。岡本事務局長は「民間企業が主体となって顕彰活動に取り組んでい

ただき、非常にありがたい。大河ドラマ登場への気運盛り上げの大きな材料になると感謝しています。小学校時代に感想文に応募し

た野口さんは「親しみやすい、かわいいイラストなので、多くの方に使っていたきたい」と話した。

6月1日から御坊営業部と御坊南、道成寺、印南、由良各支店。日高病院前、JR御坊駅前、オークワロマンシティ御坊店のATMに置く。日高地方では年間約10万部使用しているとのことで、今回は1年分の封筒をつくり、なくなり次第終了する。きのくに信金が地元ゆかりの偉人を現金用封筒に入れてPRするのは和歌山市エリアで行った世界的博物学者の南方熊楠、以来2回目。

また、同顕彰会メンバーの紀陽銀行御坊支店は大洋化学㈱の協力で和田勇氏の写真を入れたマグカップをつくり、顧客への記念品として活用する。